

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	総合開発センター管理運営費				
担 当 課 係 名	田沢湖公民館 課	館長 係	作成者	黒沢文喜	
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	特色ある資源を活かした産業創造のまち			総合計画の ページ
	基本計画	特色ある農業の振興			
	主要施策	農業基盤の整備			
予 算 費 目	一般 会計	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	6 目 農業施設費	
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度	新規 / 継続の区分			
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	仙北市総合開発センター条例				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	市勢の振興発展を図り、産業及び社会の開発並びに市民の健康及び福祉の増進に寄与するため。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	施設の維持管理。

【事務事業の推移】

(単位：千円)

	項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績	
効果	活動指標	開館総時間数	h	3,770	3,770		
	成果指標	利用者数	人	42,378	24,513		
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額	
	事業費（人件費を除く）(A)			5,677	6,187		
	財源内訳	国 庫 支 出 金					
		県 支 出 金					
		地 方 債					
		そ の 他					
		一 般 財 源		5,677	6,187		
		人 件 費 (B)		—	7,853	8,071	
	職 員 数		—	1.0	1.0		
	職 員 平 均 人 件 費		—	7,853	8,071		
	(A) + (B) 投下コスト		—	13,530	14,258		
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	3,589	3,782	
				—			
市民1人当たりのコスト(円)		—	424	454			

【事務事業の今までの成果】

市民や行政のの会議場所として又、各種団体・サークル等の学習の場として活用されている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	各施設の無人化が加速している。また、指定管理者制度も導入されている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	テーブルが古くなり、老人では扱いにくい。また、数が不足している。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
C	A	現状のまま継続（実施）	行政管轄から民間団体等の指定管理者制度を 活用し管理しても良いと判断する。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

- ・各種団体と連携し、指定管理者制度を含む民間委託が可能か検討する必要がある。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
C	維持管理を含めた民間委託の導入による財政コストの縮減を図り、今後の事業推進が必要であるとする。

一次評価診断図

